

油汚れにセスキ！

No.4416 16-192 12/26

セスキ炭酸ソーダ

年末のお部屋＆台所のお掃除に、これは便利で簡単、
スプレーでシューシューして拭くだけですよ～！！

(編集：イラスト・工働 元子)



●セスキ炭酸ソーダ
300g・・・**324**円



●「ガス台」・・・油汚れが目立つ部分にセスキ水を吹きかけ、水でぬらした布で拭き取ると、汚れがツルンと落ちます。

水に溶けやすい「セスキ炭酸ソーダ」は、重曹と炭酸ソーダを半々に混ぜ結晶化して両方の良い特性を持たせたものです。

弱アルカリ性 (pH9.8) で非常に水に溶けやすくなっています。重曹 (pH8.2) とアルカリ性の強さ (pH) が違うので汚れ落としの効果が違います。

そして、特に注目のココ！→「重曹は水に溶けきらず、乾くと白残りします」が、セスキは水に入れてすぐに溶けるため、お掃除の時の二度拭きがいりません。そして、油や皮脂、手垢といった酸性の汚れへの洗浄力の強さは抜群です。酸性の汚れに「弱アルカリ性のセスキ」が混ざると中和され、汚れが水溶性になって落ちやすくなり、重曹より短時間でスッカリ汚れが落ちます。

使い方は、簡単～～～!!! 1%の濃度になるようにセスキを水に溶かし、タオルやぞうさんにシュツとスプレーして拭くだけ。たったこれだけで家の中のあらゆる場所をきれいにします。

水に良く溶けるので、石けん洗濯の時には「セスキ炭酸ソーダ」を助剤として使うと繊維のたんぱく質、血液の汚れなどは非常に良く落ちます。また、洗濯前にも「セスキ炭酸ソーダ」を溶かした液を、えり口、そで口にスプレーし5分ほど置いて洗濯すると、汚れが落ちやすくなります。



■セスキ炭酸ソーダの使い方

- ガスレンジ周りや、レンジフード、冷蔵庫など頑固な油汚れにスプレーし、しばらく置いて拭き取ります。
- ブラインドや電器傘の掃除に。スプレーして拭き取ります。
- キッチン周りの油のかかった小物、テーブルや上の小物類の拭き取りに。
- 浴槽や洗面器、お風呂周りの湯垢が特に良く落ちます。
- お洗濯にも!アルカリ性で脂肪酸を溶かし落とします。(脂肪酸とは、油脂が分解されたもの。) 水に溶けやすいので、洗剤の代わりに洗濯機の水 30 リットルに大さじ 2 杯を加えます、アルカリで汚れを落とすので泡は立ちませんが良く落ち、すすぎも 1 回で済み経済的です。
- シルクやウールの衣類の洗濯に適してます、繊維をいためずフワツと仕上がりあます。
- スプレーボトルに入れた水溶液を、ワイシャツの襟首、袖口

にスプレーし後は普通に洗濯機で洗濯するとよく落ちます。

- セスキを溶かした液に、血液で汚れた衣類を数時間浸け置くときれいになります。
- 全自動洗濯機の黒かび汚れを落とします。(2～3 回に 1 度のサイクルで、セスキだけのお洗濯をお勧めします。)



●「換気扇」・・・セスキ水を吹きかけ拭き取ります。通常のお手入れは、これで十分。

重曹との比較では・・・

汚れ		セスキ	重曹
油汚れ	≫	◎	○
皮脂汚れ	≫	◎	○
血液汚れ	≫	◎	○
食器棚など傷のつきやすいところの手あか	≫	◎	△
汗や靴などの臭い	≫	◎	◎
焦げつき	≫	○	◎
茶しぶ	≫	○	◎
水あか	≫	×	×
タバコのヤニ	≫	◎	○

●テレビの情報でも、今、話題!

重曹と炭酸ナトリウム (炭酸ソーダ) の成分が混ざり合った白い粉末で、両方の良い性質だけを持っています。

まずは頑固な汚れでセスキの力を実感!



- 洗い桶に水 5ℓ と大さじ 1 杯のセスキ炭酸ソーダを入れて混ぜ、この汚れがひどいガスコンロの受け口を漬けておきます。30 分ほどで、みるみる焦げ付きや油汚れがおちます。汚れを触ってみて、ヌルっと簡単におちるようになっていたら、スポンジや金ダワシで軽くこすります。



●「ドアノブ」・・・ドアノブや冷蔵庫の取っ手部分は汚れがすごいよ～! セスキ水を吹きかけてぞうきんで拭きます。



●「リモコン」も・・・タオルの端をセスキ水で湿らせて、軽くこするだけ。
※直接、セスキ水を吹きかけないでください。

セスキが使えない素材もあります。ご注意ください!!

- 畳・絹素材 (黄色く変色します)
- アルミ (黒く変色します)
- 白木など木質系の素材 (シミになります)



●「鏡」も・・・セスキ水を吹きかけて布でふくときれいに。

セスキ水の作り方

【用意するもの】

- ・セスキ炭酸ソーダ・・・小さじ 1/2
- ・水・・・250cc
- ・スプレーボトル 1 個

【作り方】

- ①スプレーボトルにセスキ炭酸ソーダを入れます。
- ②①に水をいれます。
- ③ボトルをよく振り、セスキ炭酸ソーダを溶かします。



編集部の工藤のガスレンジの汚れもセスキ水を使ってます。ラベルに分量を書いて貼っておくと便利です。